

「奉 仕」

国際ロータリー会長のメッセージ
The President's Message

ロータリーを私は信奉する

ロータリーは、1905年に、友好と職業における協力という理想を抱いた少数の人たちで発足しました。

ロータリーの創始者、ポール・ハリスは、一つの地域内のさまざまな実業人および専門職業人の中から指導的な人物を選んでロータリークラブの会員にする、という方法を始めたのであります。この職業分類方式は、個々の各クラブにも、また国際ロータリーにも広汎な視野を与えるという意味で、ロータリーという組織にとってきわめて大きな力となったのであります。

1911年に、当時既に結成されていた16のクラブが米国オレゴン州ポートランドで開いた第2回の大会で、シカゴのロータリアン、アーサー・シェルドン氏は次のように述べました：「職業を学ぶということは、奉仕を学ぶことである。『最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。』」こうして、「職業における協力」という当初の考え方は拡大されて、他人への奉仕というより大きな考え方に発展したのであります。

このあと、さらに二つの発展段階がありました。一つは、「超私の奉仕」という標語がつけ加えられたこと、いま一つは、奉仕という一語をもって、四つの主要活動部門を持つロータリーの唯一の目的としたことであります。

その後におけるロータリーの運営面には大きな発展がみられましたが、以上に述べたことは、依然として、いまなおわれわれの組織の根幹となっているのであります。

“SERVICE”

I believe in Rotary

Robert A. Manchester II
1976～77年度国際ロータリー会長



会長として皆さんに申し上げる…
私は次の信念を持っている…

- (1) 各ロータリアンは、みんな、国際ロータリーのプログラムについて十分な知識を持ち、身をもってこれを遂行しなければならない;
- (2) 国際ロータリーは、全会員の一人一人に対して、(イ)奉仕の4部門による奉仕と、(ロ)すべてのロータリアンとの友好関係とを求めている;
- (3) 各ロータリアンは、それぞれ、自分の職務や職業において、最高の道徳的、倫理的な模範を、つねに身をもって示さなければならない; そして、
- (4) ロータリーは、人間のすべてが健全な、尊厳な、自由な精神を確保できるように、この世界の人々が一つの目的に結ばれることを至上命令としている。

そして、私はこの信念に一身を捧げております。

皆さんもそうしていただけませんか？

A stylized, handwritten signature in black ink, consisting of several bold, sweeping strokes.

ロバート A. マンチェスターII
国際ロータリー会長